

# きたはら



平成28年 7月1日  
練馬区立北原小学校  
学 校 通 信  
NO. 582号

## 初心忘るべからず

校長 岩井一雄

昭和の終わりの頃、わたくしは教員になりました。教員になった年の夏休み、一つ実行したいと思っていたことがありました。それは壺井栄著「二十四の瞳」の舞台となった香川県小豆島の、岬の分教場跡を訪ねることでした。

（「二十四の瞳」は新人の若い女性の先生が岬の分教場に着任、一年生十二人の子供たちとの心の交流を描いた作品です。二度、映画化もされました。昭和初期、戦争へ向かう時代背景の中で、様々な困難や理不尽なできごとが起こりました。その渦に子供たちは巻き込まれていくのですが、先生は卒業後も心を通わせ愛情を注ぎ続けるお話です。）

わたくしが岬の分教場跡を訪ねた理由は、忙しい教員生活の中にあっても、常に子供に寄り添うこと、その初心を忘れまいと考えたからです。

朝、東京から新幹線、路線バス、フェリーを乗り継ぎ、小豆島でまた路線バスに乗り、田浦で下車すると、すでに日は傾きかけていました。急ぎ周囲を見渡すと、近くに当時の姿そのままの分教場が保存されていました。昭和40年代に閉校となった後も、地域の方々が大切に校舎を守っているとのことでした。

今は資料館になっている校舎の中に入ると、すり減った机やイス、そろばんなどが残り、そこに確かに子供たちと先生の生活があったことがわかりました。閉校式のために飾り付けられた輪飾りや、分教場へのお別れの言葉が書き綴られた黒板の文字も、何度もなぞられながら、大切に残されていました。

小説や映画の中に出てくる子供たちの声が聞こえてくるような錯覚にとらわれていると、地元の子供たちが集まってきました。

「どこから来たの？」

「校庭で遊ぼうよ。」

屈託のない笑顔で声をかけられ、閉校後も子供たちの遊び場になっている校庭で高

おにや肩車などをして遊びました。聞けば、先ほどまですぐ隣の浜辺で海水浴をしていたそう。若い人が資料館になっている分教場に入っていきのが見えたので、様子を見に来たとのことでした。

「今はバスに乗って本校に通っているけれど、分教場が続いていれば、ここに通はずだったんだ・・・。」

と話した子供の表情が印象に残りました。

きっとこの分教場にかつて通った大人たちから、よい思い出を聞いていることが想像できました。

夜、近隣の民宿で夕涼みをしていると、先ほどの子供たちがやって来て

「父ちゃんが家に来ないか、と言っている。」

と声をかけに来ました。

遠慮をしつつも、民宿のはす向かいの民家を訪ねると、子供たちのご両親が満面の笑みで迎えてくださいました。

かつての分教場の様子や思い出、今の岬の様子、だんだんと観光地化されていくことに対する期待や不安の入り混じった気持ちなどなど、たくさんのお話をうかがうことができました。

東京に帰って考えたことは、教師が子供たちに真剣に向き合ったことは、時がたち、たとえ学校が閉校になるようなことがあっても、人の心に生き続けるということです。

当たり前のことかもしれませんが、校舎があり、校庭があり、そこに子供が登校しても、教師が子供としっかりと向き合い、喜びや悲しみを共有していかなければ、血も心も通いません。日々の慌ただしさの中で、また齢を重ねる中で、その情熱が下がってはいまいか、常に教師一人一人が自分の心に問い続けなければならないと考えます。

「子供のためにはどのようにするのが一番いいか」教育の原点に立ち戻り、日々取り組んでいきます。



## 7月の行事予定



日	曜	予 定
1日	金	
2日	土	
3日	日	
4日	月	委員会活動 谷原中学校体験授業（6年）
5日	火	
6日	水	
7日	木	都学力調査（5年）
8日	金	避難訓練 北原スマイルフェスティバル準備
9日	土	学校公開 北原スマイルフェスティバル
10日	日	
11日	月	
12日	火	安全指導日
13日	水	
14日	木	保護者会（1・2・3年）
15日	金	保護者会（4・5・6年） お誕生日給食
16日	土	
17日	日	
18日	月	海の日
19日	火	
20日	水	1学期終業式
21日	木	夏季休業日始 夏季水泳指導① 学力補充教室始 学校保健委員会
22日	金	夏季水泳指導②
23日	土	
24日	日	
25日	月	夏季水泳指導③
26日	火	夏季水泳指導④
27日	水	夏季水泳指導⑤
28日	木	夏季水泳指導⑥
29日	金	夏季水泳指導⑦ 学力補充教室終
30日	土	
31日	日	

### 今年度から3学期制です

3学期制実施に伴い、20日（水）には、終業式があり、学級で通知表が渡されます。お子様と一緒に御覧になり、頑張ったところを褒め、課題については励ましていただき、夏休みの学習計画を立てる資料にしていだければと思います。学力補充教室については、学年・学級から具体的なお知らせがあります。

### <お詫びと訂正>

6月号の「遠足にいらっしゃいました！」の中に名前の間違ひがありました。正しくは、『いわ村 ももえ』さんです。申し訳ございませんでした。今後はよく確認をしております。

### 今月の生活目標

#### 安全に生活しよう

プールに入るときにのきまりを徹底させ、安全な水泳学習ができるようにします。また、夏休み中も安全に生活できるように事前指導を行います。保護者の皆様の見守りやお声かけをよろしく願いいたします。

#### 生活指導に関連して…

梅雨が明けると暑い夏がやってきます。学校では、熱中症対策をとりつつ、暑さに負けないで学習に取り組めるように教室の環境を整えていきます。

また、高学年を中心に「SNS 北原ルール」を検討しています。大変便利なスマートフォンやインターネット、楽しいゲーム機も使い方を間違えると大変なことになります。今月の保護者会の折に学校で決めたルールをお伝えする予定です。それを受けて、家庭でのルール作りを夏休みをお願いいたします。

その他にも、日が長くなり楽しい気持ちで遊んでいて交通事故や不審者に会うなどの思いがけない事故に巻き込まれないよう注意してほしいです。

#### 第2土曜日 学校公開について

今月の第2土曜日の学校公開は、3時間とも北原スマイルフェスティバル（ロング集会）となっております。クラスごとに交代しながらゲーム等のお店を開き、子供たちは、それぞれのお店を回ります。どこのお店も行列ができ、子供たちは並んで待つような状況となります。子供たちが十分に活動できるよう、保護者の皆様は、参観のみでお願いいたします。（お店のゲーム、出し物を行うのは子供たちのみとなります御承知おきください。）

子供たちの活躍ぶりをどうぞ御参観ください。

なお、先月もお願いいたしましたが、第2土曜日の学校公開については自転車での来校は御遠慮ください。徒歩での御来校をお願いいたします。併せて、安全面への配慮から東門は基本的に閉鎖しております。  
御不自由をおかけしますが西門からお越しください。

